

様式第2号（第5条関係）

令和4年2月14日

受 講 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 鈴 木 千 逸



このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研 修 日 令和4年2月10日（木）10時～13時
- 2 目 的 オンラインによる研修受講
- 3 研 修 内 容 講師：平井 竜一氏（前逗子市長）
予算審議のツボとコロナ禍を踏まえた議会のあり方
「市長経験者が明かす！予算審議のツボ」
- 4 関 係 書 類 別紙のとおり

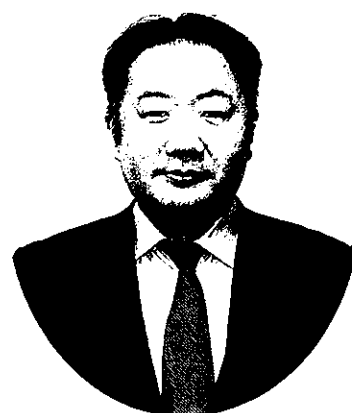




講師: **平井 竜一**
【前・逗子市長】

早稲田大学社会科学部卒業。大学時代に逗子市の池子米軍住宅建設問題に関わったのをきっかけに市長を志す。民間企業を経て、31歳で逗子市議会議員、40歳で逗子市長となり3期12年勤める。市長時代に米軍住宅地内40ヘクタールを池子の森自然公園に整備するなど市の発展に尽くす。市長退任後は民間でコンサルティング業に従事するが、2021年2月に西東京市長選挙に地元市民と議員から要請されて挑戦し、惜敗。現在は、まちづくりコーディネーター代表として公民連携コンサルティングを通じて社会貢献すべく活動中。

予算審議の ツボと コロナ禍を 踏まえた議会 のあり方



講師: **廣瀬和彦**
【(株)地方議会総合研究所代表取締役
・元全国市議会議長会法制参事】

慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学法学部卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q&A議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(すべてぎょうせい)など多数。

同時開催！
オンラインセミナー

in 東京

10:00~13:00

市長経験者が明かす！ 予算審議のツボ

1. 議会が予算を決めるという自覚
2. 財政難時代の予算作りの裏側
歳入のここを突け！
3. コロナ禍予算で首長と議会の
真価が問われる
4. 代表質問と予算特別委員会で
問題をあぶり出す
5. 受講者の自治体予算を斬る！
6. 行政が変わる！議会が変わる！
～予算修正案を提案する～

14:00~17:00

コロナ禍を踏まえた 議会のあり方

1. コロナ禍等における
オンライン会議の取扱い
2. オンライン委員会における運営手法
3. コロナ禍における
一般質問の取扱い
4. コロナ禍における会議の公開
5. コロナ禍踏まえた
委員会情報の活性化手法
6. コロナ禍を踏まえた議会ICTの推進

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	スズキ ケイハヤ
お名前	鈴木 千逸
貴議会名	栗山町議会
領収書 お宛名	
ご住所	(〒 -)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@

2月10日(木) 10:00 ~ 13:00 東京



市長経験者が明かす！
予算審議のツボ

2月10日(木) 14:00 ~ 17:00 東京



コロナ禍を踏まえた
議会のあり方

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒ をお願いいたします。

☒ オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入ください。

★キャンセルは7日前までにメールまたはFAXにてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき1つの講座の申し込みが必要です。1つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000 円(税込)

2講座受講 25,000 円(税込)

開催場所

アットビジネスセンター池袋駅前別館

JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線

池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6
TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

<https://www.gikaisoken.jp>

日 時	令和4年2月10日 10:00～13:00
視 察 先	自宅にてオンライン受講
調査事項	「市長経験者が明かす、予算審議のツボ」
対 応 者	平井竜一氏（前逗子市長）
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策提言、課題など）	予算審議について理解を深める目的で受講した。 以下のテーマで講義は進んだ。 1 議会が予算を決める自覚 2 財政難時代の予算づくりの裏側 歳入のここを突け！ 3 コロナ禍予算で首長と議会の真価が問われる 4 代表質問と予算委員会で問題をあぶりだす 5 受講者の自治体を斬る！ 6 行政が変わる！議会が変わる！ ＝予算修正案を提出する＝ 「予算」は町側の提案を議会が議決することで決定・執行となる。議会は議決権を持ち、政策決定と実施結果に対する町民への説明責任があることを自覚して議決すべきとの考えはまさにその通りであると理解した。 着目する点としては ①過去からの町税の予算と決算の推移 ②繰越金の当初予算計上額 ③財調の当初繰入と年度末積立 があり、これらの数字を注視すること。コロナ対策によって財政はさらに厳しくなるので予算の組み方で自治体の危機対応力の差が浮き彫りなるとの指摘もあった。 予算委員会は施政方針と施策実現の整合性を見極める場である。計画目標や公約の実現が可能か。今取り組むべき最重要課題は何か、自治体のビジョンに照らした優先順位を判断すること。 歳入増加策はあるのか？、歳出削減の具体策はどうか？財調基金の妥当な水準はいくらか？老朽化した施設の計画的整備は？自治体に対する効果は明確か？これらを判断する場である。

したがって、場合によっては議決権で「まった」をかけ、再検討と合意形成を求める事も必要となる。

まとめとして

議会には

決定責任

説明責任

監視機能が求められることを自覚して執行側との緊張感を保ちながら予算を審議することが重要であり、審議を経て決定した予算が、より効果的に執行されているかの監視もまた重要であるとの内容を逗子市の経験談を交えての講義を受けた。

今回の講義を実務で活かして本町での予算審議に役立てたい。